

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		そ族昆虫除去事業				②事業番号		3201	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱	
⑦実施手法		○ 直営		○ 全部委託		○ 一部委託		○ 補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		4		項		1	
⑨担当部名		市民生活環境部		⑩担当課名		環境整備課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 一斉清掃時消毒散布者(区・自治会等)		① 一斉清掃時消毒散布者(区・自治会等)		団体	
② 害虫等駆除者		② 害虫等駆除者		人	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
区、自治会等の一斉清掃時の水路等の消毒に対して、消毒車及び薬剤を無料で貸出、配布している。		① 消毒車		台	
		② 薬剤		本	
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
地域における健康で快適な生活環境の確保を図る。		① 消毒車		台	
		② 薬剤		本	
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
感染症等の発生を未然に防止することにより、地域における快適な市民環境が確保出来るようになる。		政策(章)		5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)		3 日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします	
		施策中		1 資源・エネルギー有効利用の推進	
		施策小		1 公害の予防	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	一斉清掃時消毒散布者(区・自治会等)	団体	10	10	10	10	10	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②	害虫等駆除者	人	—	—	—	—	—	
活動指標①	消毒車	台	13	5	5	5	5	
活動指標②	薬剤	本	33	33	33	33	33	R1より、学校からの消毒車貸出依頼が、教育委員会が自前で消毒車を購入したため、貸出の必要が無くなった。
活動指標③								
成果指標①	消毒車	台	13	5	5	5	5	
成果指標②	薬剤	本	33	33	33	33	33	
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.06	0.14	0.08	0.08		事業費などの推移における 特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	486	1,080	611	611		—
	直接事業費	千円	84	158	153	155		
	総事業費	千円	570	1,238	764	766		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	570	1,238	764	766		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	健康で快適な生活環境の確保を図る。 感染症等の発生を未然に防止し、快適な市民生活が営めるようにする。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	感染症等の発生を未然防止は、快適な生活環境の確保になっている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)				A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔1〕の評価	B
評価項目				評価及び理由・説明等					
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)				ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	区、自治会等の一斉清掃時に特に消毒車の貸出依頼が多い。				

〔2〕有効性				A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔2〕の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。				ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	地域住民の快適な生活環境が維持されている。				
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)				ア. ある イ. ない	市民の自主的な薬剤散布は一定の成果をあげている。				
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。				ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—				

〔3〕効率性				A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔3〕の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)				ア. ある イ. ない	事業費としては、薬剤購入と消毒車の維持管理だけである。				

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞	
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)
	＜今後の展開方針＞
	a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—